

開催セミナーのご案内



皮膚外科手術のための皮膚腫瘍病理学講座

手術切除されることの多い良性和悪性の皮膚腫瘍の病理組織所見を中心に解説し、手術方法や切除範囲を考えるための情報を提供します

大阪会場 日 時 2005年12月17日(土)

場 所 大阪市立大学大阪市立大学大講義室

早期申込割引受付 11月16日まで

参加費 各会場 16,000円(早期申込割引 14,400円)

皮膚病理指導医養成講座 (開催地: 札幌) 年2回

研修医を指導するために必要な皮膚病理学

第1部 炎症性皮膚疾患 早期申込割引受付 8月2日まで

日 時 2005年9月3日(土)・4日(日)

場 所 北海道大学医学部 第4講堂

第2部 非炎症性疾患 早期申込割引受付 10月25日まで

日 時 2005年11月26日(土)・27日(日)

場 所 北海道大学医学部 臨床講堂

参加費 どちらかのみ 32,000円(早期申込割引 28,800円)

2部同時申込 55,000円(早期申込割引 49,500円)

皮膚病理診断ワークショップ (開催地: 札幌)

皮膚付属器腫瘍の疑問・問題点を解決する

日 時 2005年10月1日(土)

早期申込割引受付 8月31日まで

場 所 北海道大学医学部 臨床講堂 定 員 50名

参加費 18,000(早期申込割引 16,200円)

コンセンサスセミナーと同時申込の場合・・・2日間 32,000円

(早期申込割引参加費: 28,800円)

皮膚病理診断コンセンサスセミナー (開催地: 札幌)

皮膚付属器腫瘍の疑問・問題点を解決する

日 時 2005年10月2日(日)

早期申込割引受付 9月1日まで

場 所 北海道大学医学部 臨床講堂 定 員 50名

参加費 18,000(早期申込割引 16,200円)

ワークショップと同時申込の場合・・・2日間 32,000円

(早期申込割引参加費: 28,800円)

第13回札幌皮膚病理セミナー

世界の皮膚病理学と皮膚病理医 (開催地: 札幌)

日 時 2005年 12月9日(金)～11日(日)

早期申込割引受付 11月8日まで

場 所 北海道大学医学部 臨床講堂 定 員 100名

講 師 Geoffrey Gottlieb, M.D.

(Ackerman Academy of Dermatopathology)

参加費 特別講演: 無料 セミナー: 32,000円

(早期申込割引参加費: 28,800円)

炎症性皮膚疾患の病理診断 基礎編

(診断方法の講義と診断演習)

炎症性皮膚疾患の病理診断手順をわかりやすく解説する

日 時 2005年12月18日(日)

早期申込割引受付 11月17日まで

場 所 大阪市立大学大阪市立大学大講義室

参加費 16,000円(早期申込割引参加費: 14,400円)

～各種お申込・お問い合わせは当研究所まで～

今月の症例



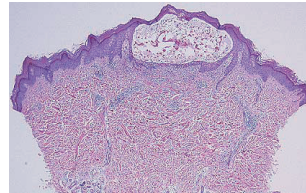
Id reaction

14才、男性

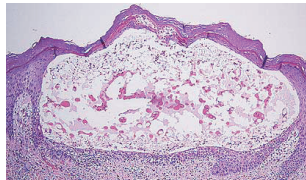
生検部位: 四肢

臨床診断: PLEVA/Scabies/自家感作性皮膚炎疑い

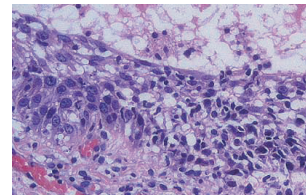
病理診断: spongiotic dermatitis, probably id reaction



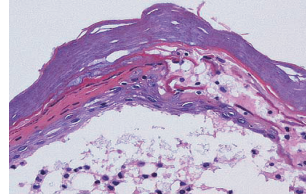
表皮内水疱の形成がある。
その周囲には spongiosis が
あることが、この拡大でも
わかる。



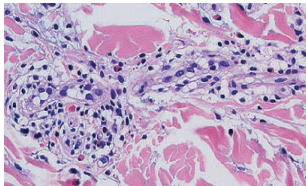
水疱は suprabasal layer
で形成されている。
真皮乳頭層には浮腫がある。



水疱基底層側の強拡大。
spongiosis と著明なリン
パ球浸潤を伴う。



水疱の上方部分。
hyperkeratosis と
parakeratosis, spongiosis
がある。
表皮の一部は necrosis を示
している(右側)。



皮浅層では血管周囲および
原線維間にリンパ球、好酸
球・好中球の浸潤がある。

札幌皮膚病理研究所

〒001-0018

札幌市北区北18条西3丁目2-21

TEL 011-756-4810 FAX 011-756-4842

E-mail office@sapporo-dermpath.com

Website www.sapporo-dermpath.com

札幌 皮膚病理 研究所 NEWS



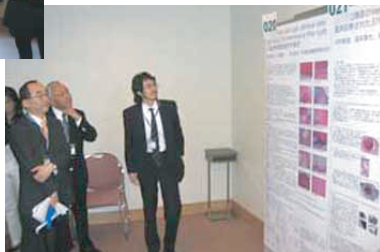
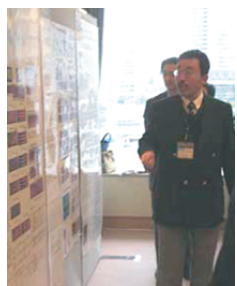
2005年6月号

What's new?

4月22日～24日 パシフィコ横浜にて開催されました
「日本皮膚科学会総会」で学会発表を行いました。

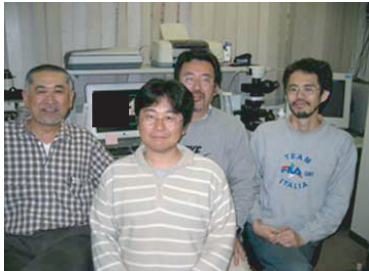


左上写真：木村 鉄宣
左下写真：安齋 眞一
右写真：福本 隆也



発表内容につきましては、
当研究所ホームページの
「業績集」をご覧ください。

今月の研修生をご紹介致します



馬場 洋一郎先生 前列

馬場先生の研修医
日記もぜひご覧
ください

今後のスケジュール

2005.6.2

勉強会：旭川医科大学皮膚科カンファレンス
会場：旭川医科大学

2005.6.11.12

学会発表、企業展示：第21回日本臨床皮膚科医会総会
会場：メトロポリタンホテル高崎

演題：尋常性疣贅 (Verruca vulgaris) の所見をもつ皮膚
病変～ヒト乳頭腫ウィルスは主役か？あるいは脇役か？～
発表者：安齋眞一、福本隆也、木村鉄宣

2005.6.16

勉強会：皮膚をみる会
会場：札幌皮膚病理研究所

2005.6.18.19

セミナー：皮膚病理講座 応用編
会場：興和ホール

研修医日記のご紹介

馬場洋一郎先生の研修医日記をご紹介します。

5月10日

私は今まで内科(消化器)を8年、大学院で病理を4年勉強してきました。そして本年、大学院を無事卒業し、今後は一般病院で病理診断に携る予定となっています。

一般病院就職前に今まで自分の苦手としてきた皮膚病理分野を臨床を含め基礎から勉強したいと思っていました。そんな時偶然、札幌皮膚病理研究所における研修制度が目に入り即座に研修を決めました。

もちろん私は木村先生に会ったことも無かったですし、皮膚科臨床・病理の知識もほとんど無いに等しかったので、いろいろな不安がありました。しかし、実際に来てみると、木村先生をはじめ研究所の皆様は暖かく迎えていただいたことで、すぐに気が楽になりました。今後、皮膚病理診断の基礎を築こうという意欲がわいてきたというのは大げさですが、できるだけ多くの症例を経験して帰りたいと思います。

1ヶ月半の短期間ではありますが、木村先生をはじめとする研究所の皆様よろしくお願い申し上げます。

5月19日

今日で実質1週間の研修が終わりました。診断を見させていただいた症例は700を超える様です。教科書でしか見たことの無かった症例がたくさん見ただけでなく、その症例のいろいろな亜型や特殊型も多く見る事ができました。症例ごとに木村先生の説明つきです。“標本をまずどう読むか”、“何をきっかけとして診断を進めるか”、“疾患において何が通常と異なる所見か”、“臨床情報をどう読むか”、“鑑別疾患は何か”、などなど繰り返し教えていただいています。もちろん、一回で覚えられないのですが、繰り返されることにより、2回目3回目ですぐに頭に入ります。知識は確実に増えている気がします。まだまだ自分の中で診断を確立できていないといえませんが、ただ、このまま繰り返すことにより、徐々に自分の中で診断を確立していればと思います。

新しく論文が掲載されました

長門一、輪湖雅彦、梅林芳弘、真鍋 求、安齋眞一
coccygeal pad 皮膚病診療 27(5):567-569 2005

南本俊之、佐々木了、川嶋邦裕、杉原平樹、井川浩晴、
木村鉄宣 多発性脂腺嚢胞症の1例 Skin Surgery
13(2):13-14 2005

皮膚病理講座 応用編 (開催地：東京)

皮膚病理を楽しみ、えー？という驚きからへー！と納得への転換、
そして皮膚病理の目利きになっていただくことを目的としています

日時 2005年6月18日(土)・19日(日)

早期申込割引受付 5月17日まで

場所 興和ホール(東京都中央区)

定員 100名

参加費 32,000円(早期申込割引参加費:28,800円)

目的
・各種皮膚疾患の病理組織像を理解する
・重要な皮膚疾患の疾患概念や分類についての新しい考え方を検討する
・病理組織像と臨床像との対応を検討する

方法
・スライド映写による講義

対象者
・皮膚科や病理医などで、皮膚病理診断学に関心のある研修医や臨床医

取扱い疾患(予定)

臨床をみて病理を考え、病理をみて臨床を考える

GVHD
Flame sign
Sebaceoma, Sebaceous adenoma,
and Sebaceous carcinoma
Nevus sebaceous
Venous lake
Arthropod reaction
Leukocytoclastic vasculitis, early lesion
Psoriasis vulgaris
dermoscope像と病理組織像 など

皮膚病理の常識・非常識

Bowen's disease on sun damaged skin
Pilomatricoma
Spitz's nevus
Isthmus catagen cyst
Preauricular fistula
Parapsoriasis en plaque vs. Mycosis fungoides
Palisading granuloma
Pautrier's microabscess vs. Vase sign
Ripple pattern neoplasms
Mucous cyst of the digit vs. Ganglion
Infundibulocystic basal cell carcinoma
Apocrine poroma
Bowen's disease vs. Porocarcinoma in situ など

その他様々な疾患を解説します

ホームページ・E-mail・FAXにてお申込みください

編集担当者：戸澤 愛美